



No. 2 5

有脇小学校校長だより

2019・9・27

第13回 かいどり大作戦

9月21日(土)、絶好のくもり空のもと、「第13回かいどり大作戦」が行われました。今年は大洞池で行われました。この行事は「有脇の農地・水・緑を守る会」のみなさんが主となって、有脇にある5つのため池を順に回って行っている地域の行事です。

有脇小学校は、「ユネスコスクール」に認定されています。その活動の一環として、かいどり大作戦に参加させていただいています。

運動会観れるといいなあ

①有脇地区の一員であることを自覚することや自然の特性を知る場として、幼いときから身近にあるため池での活動を経験させることによって、自然観・環境観・生命観の形成に役立たせる。

②外来生物の駆除や在来種を守ることなど、環境問題を考える機会とする。

の2点を目的に掲げ、子どもたちは、3～6年生は池に入り、1・2年生は捕獲された生物を観察しました。次々に捕獲される大物(1メートル越えのコイや丸々太ったフナなど)、タモで一網打尽の小魚など、いたる所で歓声があき起こっていました。かいどりで、捕獲した生物を、まず分類し数を数え、その後他のため池(今回は南廻間池と杵廻間池・外来種は生態系保全のため処分します)に放流します。生物だけでなく、水の大切さも学ぶことができました。大きな川がない知多半島で農業を進めるためには「ため池」はなくてはならないものです。ため池の重要性について学ぶことができました。また「愛知用水」についても学ぶことができました。かいどり大作



戦の参加者には「愛知県農水省知多事務所」「半田市役所」「愛知用水土地改良区」「愛知用水亀崎管理区」のみなさんもいらっしゃるんです。捕獲した魚の中に

外来種「ブルーギル」がいました。こうした魚の詳しい説明も「知多自然観察会」のみなさんが丁寧にしてくださいました。そのほかにも「菜の花クラブ」「有脇1区役員」「有脇公民館」「消防団」「有脇児童館」「農業推進委員」「長生会」「有脇生産組合」「農協婦人



会」「愛知県土地改良連合会」「JA半田東支店」のみなさんが参加されていました。また今回は「日本福祉大学」の学生さんも参加していました。地域を挙げての大プロジェクトでした。みなさん、本当にありがとうございました。おつかれさまでした。

見ていただきました

9月18日(水)に「学校訪問」をしていただきました。学校の環境、子どもたち、教職員、授業の様子などを一日じっくり見ていただいて、良いところや改善点などをお話しいただきました。半田市教育長、教育委員、学校教育課課長、指導主事、指導教諭等の方々にお越しいただきました。午前中は各学級の授業の様子を見ていただき、午後からは研究協議会を行いました。本年度の有脇小学校の現職教育の副テーマは「他者との対話的な学びを通して」です。授業のどこかに必ず「対話」する場面を設定しました。対話の種類としては教師との対話【教師】、グループでの対話【仲間】、学級全体との対話【仲間全】、自分との対話【自己】の4つを設定しました。この「対話」を通して、自分の思いを伝える力、他の考え方を理解する力、よりよいものに修正していく力などを養います。子どもたちがしっかり成長するために、わたしたち教職員も成長し続けます。



10月5日は運動会

10月5日は有脇学区区民運動会です。学校では準備に取り組んでいます。子どもたちの一生懸命なかけこええ姿をぜひ見てやってください。そして、大人の一生懸命なかけこええ姿を子どもたちに見せてやってください。